



エコにこニュース



「エコにこセンター」は多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンターのニックネームです

着なくなつたこども服集めます！

10月11日12日、25日26日



すべて土日開催

時間：10時～17時 場所：エコにこセンター事務室脇

共催：NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦“FUKUFUKUプロジェクト”

エコにこセンターでは、サイズが合わなくなったり、未使用の子ども服の寄付を受付けています。サイズは50～160程度、シミや破れの無いもの、すぐに使用できるものが対象です。

集まったこども服は、後日「おさがり広場」で頒布をします。（一部は常設の「おさがりスポット」で販売）

★受取れるもの

- ・50～160サイズの洋服
- ・靴下、下着は新品（未開封や新品タグ付き）のみ
- ・新品以外の場合は、必ず洗濯をしてからお持ちください。

★受取れないもの

- ・不衛生な衣類（カビ・虫食い・大きなシミ・汚れなど）
- ・制服や体操服、名前の書いてあるもの
- ・やぶれ、ファスナーなどの破損があるもの

★注意とお願い

- ・交換会ではありません。当日頒布は行いません。
- ・対象外のものはその場で返却します。
- ・簡単なアンケートにご回答をお願いします。



FUKUFUKUプロジェクト
マスコットキャラクター

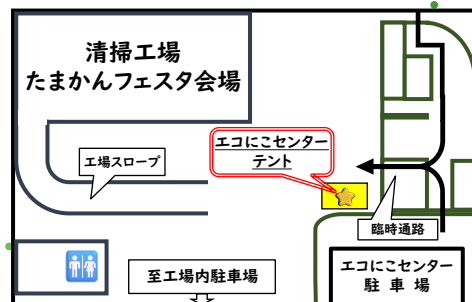
ふーたん

たまかんフェスタでもこども服集めます！

日時：10月19日（日） 10時～15時

場所：会場内エコにこセンターテント

※エコにこセンター（館内）では受取れません。
必ず会場内テントへお持ちください。



～おしらせ～

エコにこニュースは6月号からA4用紙両面印刷に変更しました。今後は二次元コードなどを活用してこれまで以上にホームページとの連携を強化していきます。また、X（旧Twitter）でも情報を発信していますのでご利用ください。（タマちゃん@エコにこセンター <https://x.com/econico1>）



2025年10・11・12月の主な講座など



詳細はコチラ

〈〈要事前申込み〉〉 2ヶ月前の最初の開館日から申込受付開始

★エコにこ3R講座

おとな対象 中学生以下は参加できません。

- ・さき織り体験教室 10月 2. 9. 16日 11月 6. 13. 20日 12月 4. 11. 18日 すべて(木)
- ・おとなのための工作教室 10月29日 11月26日 12月24日 すべて(水)
- ・Tシャツぞうり教室 10月4日(土) 11月11日(火) 12月10日(水)

こども対象 小学校1年生～中学校3年生まで(小学校3年生以下は要保護者同伴)

- ・こどもこうさく教室 11月 2日(日) 干支の土鈴(うま)

★エコにこマーケット 出店申込みは2ヶ月前の最初の開館日～開催月の最初の開館日まで
(キャンセル待ち含む)

10月25. 26日 11月22. 23日 12月20. 21日 すべて(土)(日)

〈〈事前申込み不要〉〉 各受付時間内に直接お越しください。(時間は受付時間)

★こうさくの時間“陶芸” 10月5日(日) 11月29日(土) 12月13日(土) 10時30分～12時

★こでん診療処 10月 1. 15日 11月5. 19日 12月 3. 17日 すべて(水) 13時～14時30分

★電子工作サロン 10月 4日 11月 1日 12月 6日 すべて(土) 13時～15時

★おもちゃ病院 11月15日(土) 13時～14時30分

〈〈こども服リユースプロジェクト〉〉

★着なくなったこども服あつめます！ すべて(土)(日) 10時～17時

10月11. 12日 25. 26日 11月 8. 9日 22. 23日 12月 6. 7日 20. 21日

★おさがり広場 11月16日(日) 10時～16時30分

清掃工場だより

青い空、一筋の白い飛行機雲

暑かった夏のある日の午後、清掃工場の高い煙突を下から見上げると、その煙突の先にある青い空には、一筋の白い飛行機雲が伸びていました。長く伸びた飛行機雲の先端をよく見てみると、西の空に向かって飛行するジェット旅客機の機影がありました。

今、ジェット旅客機が使用する航空燃料に、食用油(廃食用油)などを活用するリサイクルの取り組みが行われているのをご存じでしょうか。

SAF(Sustainable Aviation Fuel)持続可能な航空燃料。この航空燃料は、従来のものに比べると生成方法にもよりますが、二酸化炭素(CO2)排出量を最大で約80%削減することができるとも言われています。CO2の増加は地球温暖化による気候変動とつながっていると考えられていますので、その排出量を削減する取り組みは、もはや深刻な状態にある環境問題を思うと、その動向に大いに期待が寄せられます。

現状ではコストや原料の確保、技術的な問題等重要な課題もあるようですが、国内では2030年時点で日本の航空会社による燃料使用量の10%をこのSAFに置き換える目標が掲げられており、東京都は、先月開催された東京2025世界陸上と連携して、都庁や多摩市も含めた都内の区市町に、SAFの原料となる廃食用油の回収拠点を設置し、「家庭の油で飛行機を飛ばそう」と題して、SAFの認知度向上を図るキャンペーンを実施していました。SAFの原料を収集する活動には、様々な企業が取り組みと支援を始めています。また、SAFの導入拡大は国内だけではなく、世界各国でも環境負荷の少ない燃料の義務付けを行うなど、政策の整備が進められているようです。

近い将来、青い空にある一筋の白い飛行機雲は、ご家庭から出た廃食用油由来の燃料で飛行するジェット旅客機の航跡からなるものかもしれません。

多摩ニュータウン環境組合 多摩清掃工場

編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにこセンター (10時～17時 月曜・年末年始休館)

エコにこセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。
センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

☎ 042-374-6210 📠 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田2-1-1

✉ recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <https://www.tama-seisokojo.or.jp>

X(旧Twitter)「タマちゃん@エコにこセンター」 <https://x.com/econico1>



エコにこセンター
ホームページ